

電気電子情報工学専攻技大出身高専ネットワークワーキンググループ通信 第18号配信のご案内

高専におかれましても卒業・修了式シーズンを迎えられ、何かと忙しい日々と存じます。今回は内富直隆教授最終講義、卒業・修了式、卒業・修了生の表彰、卓越大学院大学プログラムの採択、国連アカデミック・インパクトのSDGsゴール9ハブ大学任命、高専-長岡技大共同研究助成についてをお知らせいたします。今後も長岡技術科学大学の情報をお送りしてまいりますのでよろしくお願いたします。

1. 内富直隆教授 最終講義のご案内

内富直隆教授が本年3月を持ちまして定年退職いたします。それに伴い最終講義並びに懇親会を執り行います。

最終講義

日時：平成31年3月18日（月）15:00～16:30

場所：マルチメディアシステムセンター

演題：「機能的半導体材料工学特論」最終回 ー企業研究と大学研究ー

懇親会

日時：平成31年3月18日（月）17:00～18:50

場所：第三食堂

会費：2,000円

最終講義世話人・懇親会申し込み先：

電気電子情報工学専攻 木村宗弘教授 nutkim@vos.nagaokaut.ac.jp

2. H30年度卒業・修了式ならびに祝賀会のお知らせ

平成30年度卒業・修了式が3月26日（火）10時より、長岡市立劇場にて行われます。また13時00分よりホテルニューオータニ長岡（白鳥の間）にて祝賀会が行われます。卒業・修了式の詳細は下記をご覧ください。

<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/news/190218.html>

3. H30年度卒業・修了生の表彰のおしらせ

①修士修了生 学長表彰(平成31年3月26日)

修士課程在学時に特に優れた業績を挙げた学生が卒業・修了式の際に学長より表彰されます。

梶澤 優希 （長岡高専出身）（本学指導教員 山本 和英）

河内 謙吾 （東洋大学出身）（本学指導教員 伊東 淳一）

②電気電子情報工学 専攻長最優秀表彰・専攻長表彰(平成31年3月11日)

修士課程在学時に優れた業績を挙げた学生が専攻長より表彰されます。

◆最優秀専攻長賞

●梶澤 優希 （長岡高専 出身）（本学指導教員 山本 和英）

「かな漢字換言を通じた日本語語義曖昧性解消の分析」梶澤 優希, 山本 和英, 自然言語処理, Vol.25, No.3, pp.255-293, 言語処理学会 (2018.6).

◆専攻長賞

- 河内 謙吾 (東洋大学 出身) (本学指導教員 伊東 淳一)
「3 レベル駆動による Dual ActiveBridge コンバータのデッドタイム誤差補償法」, 河内謙吾, 比嘉隼, 日下佳祐, 伊東淳一, 電気学会論文誌 D, Vol. 138, No. 12, pp. 944-945 (2018).
- 藤田 利樹 (釧路高専専攻科 出身) (本学指導教員 田中久仁彦)
Preparation of $\text{Cu}_2\text{Sn}_{1-x}\text{Ge}_x\text{S}_3$ bulk single crystals by chemical vapor transport with iodine, Riki Fujita, Nobuo Saito, Kenichiro Kosugi, Kunihiko Tanaka*, Journal of Crystal growth **498** (2018) 258-262.
- 前田 秀平 (都城高専 出身) (本学指導教員 鵜沼 毅也)
Phase shift of terahertz Bloch oscillations induced by interminiband mixing in a biased semiconductor superlattice, T. Unuma and S. Maeda, Appl. Phys. Express (2019) (ページ未定).
- 松富 俊貴 (宇部高専 出身) (本学指導教員 安井 寛治)
Enhancement of Optical Emission from Quantum Dots by Photonic Crystal Cavities Fabricated on SOI Substrates, T. Matsutomi, T. Hayashi, Y. Takamatsu, K. Tanaka, K. Yasui, International Journal of Materials Engineering and Technology **17** (2018) 103-110.
- 南 海舟 (長岡高専 出身) (本学指導教員 鵜沼 毅也)
Generalized framework for determining time origin in terahertz emission spectroscopy on the basis of causality T. Unuma and K. Minami, Optics Express **27** (2019) 5136.

③電気電子情報工学専攻学術論文賞(平成 31 年 3 月 11 日)

本年度公表された論文の著者で平成 29 年度修了の方に電気電子情報工学専攻学術論文賞が授与されます。

- 河村 和輝 (新居浜高専 出身) (本学指導教員 伊東 淳一)
Control Strategy for Starter Generator in UAV with Micro Jet Engine, Jun-ichi Itho, Kazuki Kawamura, Keisuke Kusaka, Yoshiya Ohnuma, Hiroyuki Koshikizawa, Kazuyuki Abe, IEEJ Trans. on Industry Applications, Vol. 8, No. 3 (ページ未定).
- 串田 裕紀 (長岡高専 出身) (本学指導教員 佐々木 友之)
Liquid crystal cells with subwavelength metallic gratings for transmissive terahertz elements with electrical tenability, Tomoyuki Sasaki, Hiroki Kushida, Moritsugu Sakamoto, Kohei Noda, Hiroyuki Okamoto, Nobuhiro Kawatsuki, Hiroshi Ono, Optics Communications **431** (2019) 63-67.
- 齋藤 和堯 (長岡高専 出身) (本学指導教員 小野 浩司)
Effects of slant angle of metallic fish-scale structure on polarization conversion in the terahertz spectral range, Tomoyuki Sasaki, Kazutaka Saito, Moritsugu Sakamoto, Kohei Noda, Yasuhiro Tamayama, Hiroyuki Okamoto, Nobuhiro Kawatsuki, Hiroshi Ono, Applied Physics A **124** (2018) 789.
- 中田 匡哉 (サレジオ高専 出身) (本学指導教員 岡元智一郎)
Enhanced Photoluminescence of Cu-Doped $\beta\text{-Ca}_3(\text{PO}_4)_2$ by Heating Process in Air, Masaya Nakata, Tomoichiro Okamoto, Nanoscience and Nanotechnology Letters, **10** (2018) 658-661.
- 平川 慎太郎 (都城高専 出身) (本学指導教員 中川 健治)
A Parallel Flow Monitoring Technique that Achieves Accurate Delay Measurement, Kohei Watabe, Shintaro Hirakawa, Kenji Nakagawa, IEICE Transactions on Communications, E102-B(4) 2019 年 4 月 (ページ未定).

- 松田亜玲歩（東京高専 出身）（本学指導教員 鵜沼 毅也）

Temperature-dependent spectral linewidths of terahertz Bloch oscillations in biased semiconductor superlattices, Takeya Unuma and Aleph Matsuda, Applied Physics Letters, **112** (2018) 162107.

- 福井 順一（香川高専 高松キャンパス出身）（本学指導教員 宮崎 敏昌）

Speed Control Method Considering Actual Periodic Reaction Torque for Tilling Claw of Electric Tiller, Junichi Fukui, Toshimasa, Miyazaki, IEEJ Journal of Industry Applications, Vol. 8 No. 3(ページ 未定).

④学部卒業生 学長表彰(平成 31 年 3 月 26 日)

学部4年生の成績優秀者が卒業・修了式の際に学長より表彰されます。

- 鎌田 慧（群馬高専 出身）（本学指導教員 江 偉華）
- 瀧本 裕也（香川高専 詫間キャンパス 出身）（本学指導教員 岩橋 政宏）

4. 卓越大学院大学プログラム採択について

本学の「グローバル超実践ルートテクノロジープログラム」が世界最高水準のエリートを育成する文部科学省平成30年度「卓越大学院プログラム」に採択されました。モノづくり系の分野では本学が唯一です。

(→文部科学省ウェブサイトへリンク http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/10/1409731.htm)

文部科学省の「卓越大学院プログラム」は、「世界の学術研究を牽引する研究者」、「イノベーションをリードする企業人」、「新たな知の社会実装を主導する起業家」、「国内外のパブリックセクターで政策立案をリードする人材」等のそれぞれのセクターを牽引する卓越した博士人材を育成・交流及び新たな共同研究が持続的に展開される拠点を創出し、大学院全体の改革を推進することを目的とし、海外トップ大学や民間企業等の外部機関と組織的な連携を図り、世界最高水準の教育・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築するものです。全国の国公私立大学から54件（国立大学44件）の申請があり、うち15件（国立大学14件）が採択されました。詳しくは下記をご覧ください。

<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/news/181003.html>

5. 国連アカデミック・インパクトのSDGsゴール9ハブ大学任命について

本学は、国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に関連する革新的な取り組みの模範となる大学として、国連アカデミック・インパクト（UNAI）におけるSDGsのゴール9（産業と技術革新の基盤を作ろう）の世界ハブ校に任命されました。ハブ校はSDGsの17のゴールそれぞれに世界で1校のみが選ばれるもので、本学は日本を含む東アジアから唯一の選出となります。詳しくは下記をご覧ください。

<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/news/181025.html>

6. 高専-長岡技大共同研究助成のおしらせ

長岡技術科学大学では、全国の高等専門学校の教員と本学の教員が連携して共同研究を実施することで、研究力を向上させるとともに、共同して学生への指導を行うことによる、グローバルに活躍できる実践的技術者の育成を推進しています。これらの取組を加速させるため、長岡技術科学大学では、企業等との共同研究実施や、科研費等の競争的研究資金の獲得のステップとなり、学生に研究発表の機会を付与する共同研究等、高専との連携強化を目的とした助成を募集いたします。また、今年度から高等専門学校、長岡技術科学大学および企業等との3者以上での共同研究の活性化及び地域イノベーションの

創出のための取り組みとして、マッチングファンド形式による共同研究を募集します。

詳細は <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/kosen/teachers/01.html> をご覧ください。

なお、最近の高専—長岡技科大共同研究助成の採用件数、総助成金額は下記の様になっております。

H26 年度採択	149 件,	35,800 千円
H27 年度採択	175 件,	34,350 千円
H28 年度採択	73 件,	41,330 千円
H29 年度採択	76 件,	42,900 千円
H30 年度採択	88 件,	37,300 千円

本学電気電子情報工学専攻教員とのコンタクトが無い方で、新たに連携と申請をご希望の方は、テーマや内容の概略等を田中 tanaka@vos.nagaokaut.ac.jp までご連絡ください。電気電子情報工学専攻技大出身高専ネットワークワーキンググループの方で可能な範囲でバックアップさせていただきます。また、紹介してほしい本学の教員や、協力を希望される研究分野の本学教員がおりましたら紹介いたしますので、田中 tanaka@vos.nagaokaut.ac.jp までご連絡ください。

電気電子情報工学専攻技大出身高専ネットワークワーキンググループよりお知らせ

●日頃より、教育・研究連携に関しまして、ご意見等ございましたら、ご遠慮なくお知らせ願います。

HP 問合せフォーム: <http://denki.nagaokaut.ac.jp/contact/>

連絡先: 田中 tanaka@vos.nagaokaut.ac.jp.

発行責任者 電気電子情報工学専攻 専攻長 和田安弘
WG 委員長 河合 晃 kawai@nagaokaut.ac.jp
WG 代表世話人 田中久仁彦 tanaka@vos.nagaokaut.ac.jp